

令和3年度第2回埼玉県アルコール健康障害専門会議 議事録

1 会議日時及び場所

日時 令和3年12月10日（金）午後5時30分から午後7時
場所 埼玉会館5A会議室

2 出席者（敬称略）

【有識者】

丸木 雄一 一般社団法人埼玉県医師会 常任理事
吉岡 幸子 帝京科学大学看護学科 教授
高橋 一光 公益社団法人埼玉県断酒新生会 副理事長

【医療機関】

山縣 正雄 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立精神医療センター 主査

【政令市】

塚本 明宏 さいたま市健康増進 課長
加藤 拓也 さいたま市健康増進課 主事

【関係各課】

唐仁原 哲也 県民生活部青少年課 主幹
河合 美恵 県民生活部男女共同参画課 主幹
田嶋 伸行 県民生活部防犯・交通安全課 主幹
濱田 彰子 福祉部精神保健福祉センター 主幹
堀 寛恵 保健医療部健康長寿課 主幹
鹿嶋 信也 多様な働き方推進課 主幹
芝 和俊 教育局保健体育課 主幹
熊木 美香 教育局保健体育課 指導主事
泉山 和彦 県警察本部生活安全部少年課 課長補佐
桑原 博充 県警察本部交通部運転免許本部運転免許課 課長補佐
青木 秀樹 県警察本部交通部運転免許本部運転免許課 講習係長

【オブザーバー】

飯島 徹 埼玉県小売酒販組合連合会 副会長

【議長】

小松原 誠 保健医療部 副部長

【副議長】

高橋 司 保健医療部参事兼疾病対策課 課長

【事務局】

根岸 佐智子 保健医療部副参事兼疾病対策課 副課長
鹿島 まゆみ 保健医療部疾病対策課 主幹
大竹 智英 保健医療部疾病対策課 主査
田畑 絵理奈 保健医療部疾病対策課 主事

3 議事

- (1) 埼玉県依存症対策推進計画（案）について
- (2) 県民コメントの結果について
- (3) 埼玉県依存症対策推進会議について

埼玉県アルコール健康障害対策推進会議設置要綱第3条に基づき、保健医療部小松原副部長が議長となり、以降の議事を進行する。

議事（1）埼玉県依存症対策推進計画（案）について

議長)

埼玉県依存症対策推進計画は、依存症対策を総合的かつ効果的に推進していくためアルコール健康障害、ギャンブル等依存症、薬物依存症などのほかにゲーム障害対策やたばこ対策などを包括した内容となっております。

計画案概要及びアルコール健康障害対策の部分を中心に事務局から説明をお願いします。

事務局)

資料1に基づき、事務局から説明。

議長)

ただいまの説明について、御意見、御質問があればよろしくをお願いします。

吉岡委員)

前回の会議で丸木委員から高齢者のアルコール問題についての提議をしていただき、今回計画に高齢者支援における関係機関の連携と記載していただいています。

高齢者御本人のアルコール問題もありますが、福祉の状況をみますと、介護者がお酒などへの依存症問題で介護を放棄している問題も多くあると聞いております。これについての対策や福祉へのアプローチはどのように考えていますか。

事務局)

今回計画の中には、独居の高齢者にアルコール問題が散見されることにスポットを当て、支援者向けにアルコール健康障害の普及啓発を図っていくことを記載しています。地域包括支援センターとの連携を目指して、地域包括ケア課と協力・連携させていただくことになりました。

確かに介護によるストレスや疲れから、支援者にアルコール問題があるということは聞いております。今後こういった問題が散見されてくることもありましようから、次期に向けて少しずつ取り組んでいけたら良いと思っております。

丸木委員)

おそらく地域包括支援センターが関係する事案になるのではないかと思います。

特にアルコール問題による介護放棄となると、虐待まではいかななくても、そのようなケースとみられることもあります。地域包括支援センターは虐待事例もしっかり対応しているので、そのような情報を入れながら対応してもらうことになると思います。

50歳代の精神障害があつて介護をしている方のアルコール問題は、地域包括支援センターからわれわれのところにも話があがって来たりしています。

吉岡委員)

ありがとうございます。アルコール健康障害対策基本法自体が、御本人の健康障害対策がメインなのは承知していますが、そこから派生する問題もありますので、連携していきながら、介護者のアルコール問題も今後広げていっていただきたいです。

議長)

他にいかがでしょうか。

高橋委員)

21ページ目標6施策7に「SBIRTS (エスパーツ)」を入れていただいておりますが、SBIRTSのことを皆さんが読んで、どこまで理解をしていただけるのかが気になります。

実は3年前埼玉県断酒新生会はSBIRTS普及促進センターというものを開かせていただいております。昔はSBIRTSの「T」で止まっていた。しかし、医療だけで解決するものではないので「『S』=Self-help group」の自助グループに繋げていかないとはいけません。

埼玉県断酒新生会という名称も計画に入れていただきましたので、責任感を持って様々な活動をさせていただき、連携させていただきながら普及啓発などをしていければと思います。

事務局)

SBIRTSは国の基本計画に謳われていることもあり載せさせていただきました。

21ページに解説を書かせていただきましたが、基本的には早期発見、早期回復を目指し、切れ目のない支援をしていくということになると思います。まずはできるところから、事例や日々の活動を通してやっていきたいと思っていますので、この連携体制の構築で、断酒会さんにお力をいただきたいと考えています。

高橋委員)

ありがとうございます。SBIRTSの最初のSはスクリーニングテストです。スクリーニングテストは色々な所で活用できますし、県やさいたま市のホームページにも載っておりますので、色々な関係機関の方にご利用いただきたいです。

アルコール依存症は本当にごくありふれた病気です。アルコール依存症患者は全国で54万人ですが、10年位前は109万人といわれていました。だんだん精査され、アルコール依存症は亡くなることもある病気であるため、人数は減っていきます。しかしずっと数が減らないということは、新しく依存症になる方がいらっしゃるということなので、ぜひ早期発見のためにスクリーニングテストを使っていければと思います。

議長)

他にいかがでしょうか。

吉岡委員)

大学の授業後、大学2年生の男子学生にお酒をどれくらい飲むか、どんな感じなのか伺ったところ、今の男子学生は新型コロナウイルス感染症の影響もあるかと思いますが、みんなで飲みに行くことはほとんどないと言っていました。

今高橋委員から聞いたところでは、精査されており、本当に減っているのかという問題はありますが、アルコール依存症の人は昔よりは減っているということでした。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響もありましたので、今後どうなっていくか注視しないといけないと思います。

男子学生にお酒を飲まないで、何をやっているの?と聞いたところ、やはりゲームだと言っていました。ゲームばかりやってしまい試験勉強をあまりやれないという話もあり、生徒自身も何とかしないといけないと思っていると聞きました。今回の計画は依存症という大きなくくりで、ゲーム障害対策も掲載されておりますので、どうなっていくか期待しているところです。

議長)

ありがとうございます。丸木先生はいかがですか。

丸木委員)

最近の若者はお酒を飲まなくなった印象があります。健康志向ということもあり、世の中でアルコ

ールフリーなど低いレベルのアルコール飲料が好まれるようになってきています。そういう傾向もあるので、昔ほどひどく酔うまで飲むことは減ってきたのだと思います。

若い者が飲まないと言酒の習慣がなくなってくるので、全体的には良い傾向になっている気はします。

議長)

ありがとうございました。他はいかがでしょう。
酒販組合の飯島様、何かご意見ありますでしょうか。

飯島様)

若者はお酒を飲まず、高齢者のほうがお酒を飲む傾向にあると思います。お金や時間の余裕のある方がたくさん飲む傾向にあると思います。

議長)

ありがとうございます。他、御意見・御質問等あれば宜しくお願いします。

< 質疑なし >

議事（２）県民コメントの結果について

議長)

それでは議事（２）県民コメントの結果について、事務局から説明をお願いします。

事務局)

資料２に基づき事務局から説明。

議長)

ただ今の説明について、御意見御質問等ありましたらお願いします。

< 質疑なし >

議事（３）埼玉県依存症対策推進会議について

議長)

それでは議事（３）埼玉県依存症対策推進会議について、事務局から説明をお願いします。

事務局)

資料３－１、３－１－２、３－２に基づき説明。

アルコール健康障害専門会議委員から埼玉県依存症対策推進会議の委員代表者として、吉岡委員を推薦する旨提案。

議長)

まず、依存症対策推進会議の内容、要綱案等について御意見はありますか。

< 質疑なし >

議長)

続いて、埼玉県依存症対策推進会議委員にアルコール健康障害専門会議からは吉岡幸子委員を推薦

する提案がありましたが、御意見はありますか。
御承認いただけますでしょうか。

< 各委員に承諾いただく。 >

議長)

御承諾ありがとうございました。続いて議事4その他ですが、全体を通して御意見や御質問がありましたらお願いします。

< 質疑なし >

議長)

それでは以上を持ちまして、本日の審議は終了させていただきます。本日の審議内容を参考にさせていただきます。関係各課に置かれましてはより一層アルコール健康障害対策の推進をよろしくお願いたします。